

第 114 回 学長定例記者会見

日時：令和元年10月21日（月）10：30～11：00
場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室
※テレビ会議システムにより、記者会見の様様を同時配信
受信場所：東千田キャンパス 総合校舎 1 階 会議室
※YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 広島大学国際交流拠点施設を整備します
～「国際的研究拠点東広島」の形成に向けた環境整備～
2. 第 13 回広島大学ホームカミングデーの開催について

【お知らせ】

1. 発達障害の子どものためのタブレット活用学習事業を開始します
2. 広島大学地域の元気応援プロジェクト 採択プロジェクトが始動します
3. 「今後の大学教育を考えるー文理融合型教育への期待と課題ー」
（第 47 回研究員集会）を開催します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：令和元年 11 月 22 日（金）
場所：広島大学 霞キャンパス

令和元年 10 月 21 日

広島大学国際交流拠点施設を整備します ～「国際的研究拠点東広島」の形成に向けた環境整備～

広島大学は、東広島キャンパスにおける国際的研究拠点東広島の形成に向けて、イノベーション創出、交流、宿泊などの複合的な機能を持つ「国際交流拠点施設」の整備を決定しました。

国際交流拠点施設は、広島大学が地域、行政、内外の大学などと広く連携し、より高度な研究とその成果により、地域活性化に貢献するようなイノベーション創出の拠点とするとともに、内外からトップクラスの研究者や優れた留学生を招くための居住環境の整備の一環として整備するものです。

今後、国際交流拠点施設を核として、研究者、学生、企業家、地域住民等によるオープンイノベーションの場や交流活動の仕組みづくり、海外からの人材の受入環境の整備などを推進し、国際化を加速するとともに、地域に根差した大学としての取り組みを進めます。

1. 開設予定

2021年（令和3年）秋

2. 事業規模・事業費

建物延床面積 約 4,000 m²

全体事業費 約 15 億円

3. 施設の整備計画

(1) 機能

①イノベーション創出機能

②交流拠点機能

③宿舎・生活機能

(2) 施設の概要

1・2階 多目的スペース、会議室、サテライトオフィス等

3～6階 宿舎（70室程度）、交流ラウンジ等

4. 事業手法

直接建設方式（設計・施工一括方式）

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

学術・社会連携企画グループ 三戸

TEL:082-424-5871

国際交流拠点施設整備計画の概要

1 国際交流拠点施設整備の目的

- (1) 広島大学は、現在スーパーグローバル大学(トップ型)として、徹底した「国際化」を推進し、世界トップレベルに向けた研究の展開、国際通用性の高い教育の提供、地域社会における産業の国際競争力の向上、既存の枠を打ち破るイノベーション創出等に取り組んでいる。そうした中、多くの大学と同様にイノベーション創出や海外からの優秀な人材の獲得は、国際戦略上の大きな課題となっている。それが、最先端の研究成果を生み、地域の産業活動の展開にもつながっていくところである。
- (2) 世界中からトップクラスの研究者や優れた留学生を獲得するためには、広島大学の研究者のネットワークを最大限に活用するとともに、世界水準の研究環境、世界とつながる交流環境、そして世界トップクラスの人材を受け入れることができる優れた生活・居住環境などを整備していく必要がある。
- (3) また、集まった内外の研究者、学生、企業家等によるオープンイノベーションの場、仕組みづくりも重要である。さらに、広島大学が国際化を進めるとともに、地域に根差した大学としての取り組みを進めていく上では、世界展開の拠点であると同時に、地域に開かれた拠点として、多様な立場の人々が幅広く交流ができる機能を持った施設が必要である。
- (4) 以上のようなことから、イノベーション創出、交流、宿泊などの複合的な機能を持つ国際交流拠点施設を整備することにより、広島大学のグローバル化を進め、国際的研究拠点東広島の形成に寄与していくこととする。
- (5) なお、10月7日には、東広島市と「国際的研究拠点東広島の形成に関する協定」を締結しており、イノベーションの創出や国際化の推進、交通アクセスの向上、海外からの研究者や留学生等の生活環境の向上などについて、連携して取り組んでいくこととしている。

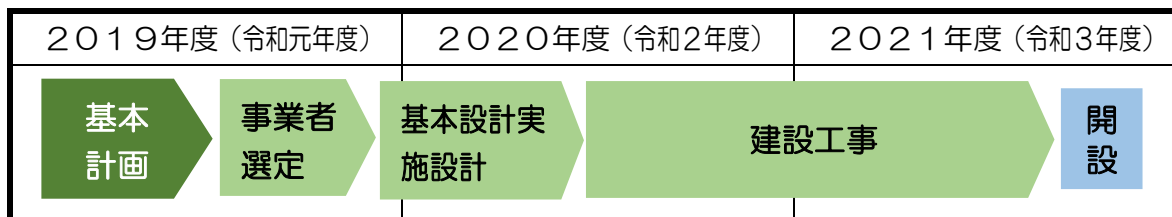
課 題

- ① 海外からの優秀な人材の獲得
- ② 東広島における国際的研究拠点の形成支援
- ③ グローバル展開に向けた基盤の強化
- ④ イノベーション創出拠点の整備

方向性・機能

- ① オープンイノベーションの場づくり
- ② 世界や地域に開かれた交流拠点の整備
- ③ 海外からの研究者等に向けた快適で安全な居住環境の整備

2 今後のスケジュール



- ・ 2021年(令和3年)秋 開設予定

3 事業規模・事業費

建物 延床面積 約4,000㎡、全体事業費 約15億円

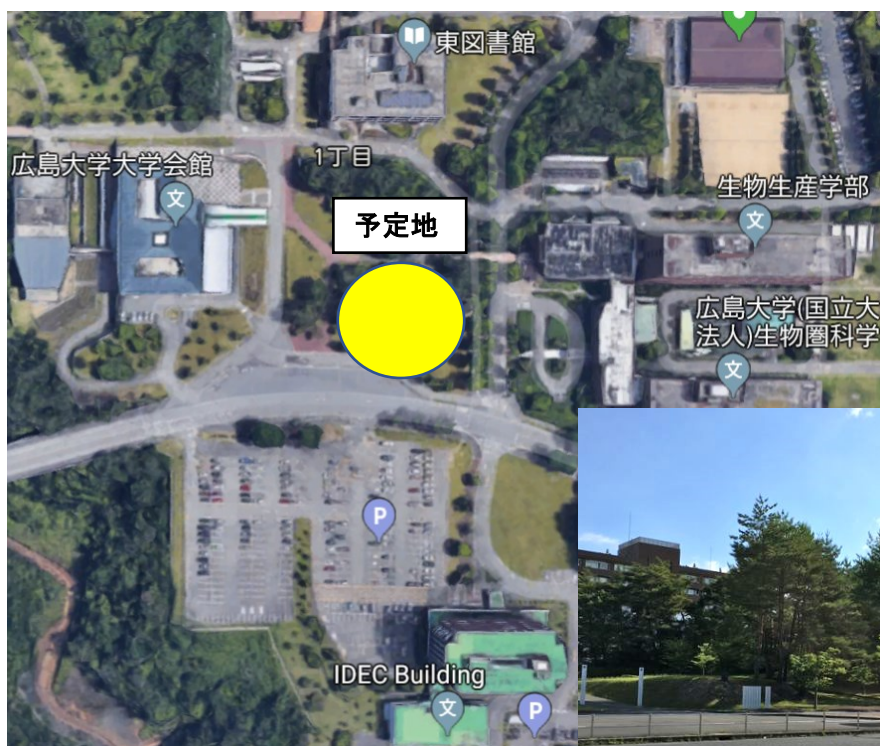
4 事業手法

直接建設方式(DB ~ 設計・施工一括方式)

5 整備候補地

整備候補地(東広島キャンパス 大学会館東側)の概要

住所	東広島市鏡山一丁目4番5号
計画敷地面積	4,800㎡
都市計画の状況	第1種中高層住居専用地域、市街化区域



(整備候補地の選考)

施設の性格から、①交通の利便性が高いこと、②他の施設との連絡が良いこと、③安全性が高いこと、などから「大学会館東側」の用地が最も適当であると考えられる。

■ 広島大学内の整備候補地(大学会館東側)



6 施設整備の基本方針

(1) 基本的な考え方

東広島地域においては、広島大学や広島中央サイエンスパークに多分野にわたる優れた研究施設が集積し、国際的研究拠点に向けた高い水準の研究に取り組んでいる。

新たな国際交流拠点施設は、その国際的研究拠点の形成に向けた支援施設とし、様々な立場の多くの人たちが集い、交流することができる施設として整備する。さらに、海外からの研究者や留学生が安全で快適に居住できるよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づく、誰もが使いやすい施設とするとともに、トップ研究者を受け入れる施設としてふさわしい居住環境を整備するものとする。

広島大学やこの地域の国際化の推進、活性化等に向けて、オープンイノベーションの場づくりなど多様な機能を持ち、100年後にも光り輝く大学としてのシンボルとなる外観の国際交流拠点施設として早期に整備していく。

(2) 整備の方向性

- ① 景観や地域環境に配慮した施設
- ② 内外の研究者や学生、市民などが集まりやすい施設
- ③ 外国人研究者や留学生等が生活しやすく、使いやすい施設
- ④ 安全で快適な施設及び環境
- ⑤ 維持管理・運営費の軽減に配慮した経済的な施設
- ⑥ 環境へ配慮した施設づくり
- ⑦ 全体共用部分の整備

7 施設の整備計画案～施設構成及び整備内容

(1) 機能等の概要

項目	内容
施設の用途 (建設候補地)	国際交流拠点施設 (東広島市鏡山)
機能① イノベーション 創出機能	・オープンスタイルの多目的スペース (サロン、コワーキングスペース、カフェなど) ・ラウンジ ・打ち合わせコーナー ・情報コーナー など
機能② 交流拠点機能	・オープンスタイルの多目的スペース (サロン、コワーキングスペース、カフェなど) ・ラウンジ ・会議室・セミナー室 ・コミュニティキッチン ・サテライトオフィス など
機能③ 宿舎・生活機能	宿泊室 ラウンジ 管理室

(2) 施設の規模

延床面積 約4,000㎡

(交流施設:約1,300㎡、居住施設:約2,700㎡)

(3) 各階の利用についての検討事例 ※今後変更あり

階	機能	部屋数	各室の面積計(m ²)	階ごと床面積(m ²)
1階	多目的スペース(サロン、コワーキングスペース、カフェ、打ち合わせコーナー、情報コーナー～壁で遮られない一体的なスペース)、事務室など		528	660
2階	会議室・セミナー室、ラウンジ		528	660
	サテライトオフィス			
	コミュニティキッチン など			
3階	留学生向け居室(18.7 m ²)	24	448	660
	談話スペース	1	42	
4階	留学生向け居室(18.7 m ²)	15	280	660
	研究者向け居室(単身)(28 m ²)	6	168	
	談話スペース	1	56	
5階	研究者向け居室(単身)(28 m ²)	16	448	660
	談話スペース	1	42	
6階	研究者向け居室(単身)(28 m ²)	3	84	660
	研究者向け居室(家族)(56 m ²)	4	224	
	トップ研究者向け居室(56 m ²)	2	112	
	交流ラウンジ	1	84	

※延床面積 4,000 m²

各階延床面積 660 m²

留学生向け居室(18.7 m ²)	39 室
研究者向け居室(単身)(28 m ²)	25 室
研究者向け居室(家族)(56 m ²)	4 室
トップ研究者向け居室(56 m ²)	2 室
合計	70 室

令和元年 10 月 21 日

第 13 回広島大学ホームカミングデーの開催について

広島大学では、東広島キャンパスで令和元年 11 月 2 日(土)、霞キャンパスでは令和元年 11 月 9 日(土)、東千田キャンパスでは、令和元年 11 月 16 日(土)に第 13 回広島大学ホームカミングデーを開催いたします。

広島大学ホームカミングデーは、広島大学と広島大学校友会が卒業生や元教職員などを招待して歓待するイベントとして、毎年実施しています。

今回は、東広島キャンパスでは、サタケメモリアルホールをメイン会場に、オープニングセレモニーで学長表彰・教育賞授与式を実施し、昨年、好評をいただきました学生によるミニ演奏会を挟んで、引き続き俳優・画家として活躍されている片岡鶴太郎氏による講演会「流れのままに」を開催します。

また、現在整備中の「福山通運小丸賑わいパビリオン」をこの日に限りプレオープンし、「広島大学の歴史」写真パネル展とともに、アントレプレナーを目指す学生たちの「1st ペンギンクラブ」から現在に至る活動をパネルや映像で紹介します。

霞キャンパスでは、講演会「放射線災害復興に於ける広島役割～福島原発事故での経験～」、東千田キャンパスでは、法科大学院講演会「司法・報道の立場から見た家庭裁判所 70 年」を開催いたします。

なお、東広島キャンパス及び霞キャンパスにおいては、同日に大学祭も開催されますので、地域の皆様も広くご来場ください。

※詳細内容については、校友会だより第 26 号(1～4 頁)をご覧ください。

【お問い合わせ先】

財務・総務室

総務グループ(校友担当) 羽田、川上、内城

Tel: 082-424-4403 / Fax: 082-424-6015

令和元年 10 月 21 日

発達障害の子どものためのタブレット活用学習事業を開始します

発達障害のある児童生徒のうち、特に読み障害・書き障害・読み書き障害（ディスレクシア）のある児童生徒は、授業中に教科書や板書を見ること、板書を書き写すこと、教科書等を読むことなどに多くの困難を伴います。これが原因で、学習遅滞になったり不登校になったりする場合が見受けられます。

これらの子どもたちに対し、教育機器として、タブレットの使用が有効であることは、文部科学省を始め多くの教育関係者や保護者等が指摘しているとおりです。クローバーの会と広島大学大学院教育学研究科 氏間和仁准教授（特別支援教育）は、広島市及び広島市周辺に住むこれらの特性のある児童生徒に対して、保護者・学校・教育委員会等と連携を取り、授業におけるタブレット使用を試み、本来の能力を発揮して学習の楽しさを味わい、学校生活を謳歌できるよう支援するため、一般財団法人 合人社財団からの助成金を受け、第 2 回「発達障害の子どものためのタブレット活用学習事業」をスタートさせます。

【募集期間】令和元年 9 月 28 日（土）～令和元年 11 月 30 日（土）必着

【募集人数】10 名

【対象者の選出】12 月 7 日（土）

【タブレット活用の導入プログラムの実施】1 月 5 日（日）、1 月 12 日（日）
13：00～16：00

【クローバーの広場や家庭での使用】令和 2 年 2 月～3 月

【在籍学校での使用】令和 2 年 4 月からを目指します。

【申し込み先】082-559-2659 または
クローバーの会HP <http://hiroshima-clover.jimdo.com/>
の「問い合わせ」から

【お問い合わせ先】

大学院教育学研究科特別支援教育学講座 氏間和仁研究室
TEL:082-424-7175 FAX:082-424-7180

一般社団法人クローバーの会は、広島大学大学院教育研究科 氏間和仁准教授と共に、学習障害児を中心に読み、書き、その両方に障害のある児童・生徒向けのタブレット学習を行います。

第2期タブレットを使った学習をする児童・生徒を募集します！

対象： 読み、書き、その両方に障害があると診断された、又は、疑いがある児童生徒(小・中・高校生)ご家庭で、貸し出した iPad を接続できる Wi-Fi 環境がある方
子ども任せではなく、親子で iPad を活用した学習に主体的に取り組もうとする意欲のある方
(*クローバーの会賛助会員であることが前提です。
まだ、賛助会員でない方は、年会費 3000 円を振り込めばいつでもなれます。)

募集期間：令和元年 9 月 28 日(土)～令和元年 11 月 30 日(土)必着

募集人数：10 名

応募方法：下記の電話または本会のホームページの「問い合わせ」よりお願いします。
申込内容は裏面にあります。

選考方法：申込者の面談を行い、対象者を決めます。

選考会の日時・場所は、12 月 7 日土曜日 10:00～12:00、中区地域福祉センター5 階です。

タブレット：貸し出します。

(貸出料：月額 1,000 円)

(初回のみ、参加料として 10,000 円)



実施方法：(会場はいずれも中区地域福祉センター 5階)

- ① **対象者の選定を行う(12 月 7 日)** * 選考は、氏間博士とクローバーの会理事が行います。
- ② **タブレット学習実施者向けの iPad 活用の導入プログラムの実施(対象者は、全員必須です。)**
日時・場所は、1 月 5 日、1 月 12 日(いずれも日曜日)13:00-16:00 です。
- ③ クローバーの広場や家庭での使用(令和 2 年 2 月～3 月)
- ④ 在籍校での使用(令和 2 年 4 月からを目指します。)

申し込み先：082-559-2659 か

クローバーの会HP <http://hiroshima-clover.jimdo.com/> の「問い合わせ」から



タブレットを活用した学習推進事業 申込書

(よみ) 参加者氏名	()	生年月日	年 月 日	学年	年	性別	男女
(よみ) 保護者氏名	()	連絡先	〒 電話 _____ メール _____				
診断名	疑いの場合、その旨お書きください。				医療機関		
検査内容※	・WISC-IV ・K-ABC ・DN-CAS ・その他				検査結果 の提供	可 ・ 不可	
困難の状況※	・読み ・書き ・計算 ・文章題 ・記憶 該当する「・」を全て○ で囲んでください。 ・漢字の学習 ・英語の学習 ・作文(日本) ・絵画 ・板書の記録						
提供いただけるもの※	・学習で利用しているノート ・テストの解答用紙 ・テストの結果 該当する「・」を全て○ で囲んでください。 ・通知表 ・絵画の作品 ・作文や日記						
この事業に期待することを お書きください。	_____ _____ _____ _____ _____ _____						

※の項目については、選考後、参加が決まった方のみ、1月5日の学習会にご記入の上、お持ちください。
お持ちいただいたものは、写真等で記録させていただき、後の支援の検討材料とさせていただきます。

郵送をされる場合は、以下の住所までお送りください(12月31日(火)必着)。

〒731-5101 広島市佐伯区五月が丘3丁目24-3 一般社団法人クローバーの会

電話またはホームページでお申し込みをされる場合は、上記の内容をお知らせください。

令和元年 10 月 21 日

広島大学地域の元気応援プロジェクト 採択プロジェクトが始動します

今年度からスタートした「広島大学地域の元気応援プロジェクト」は、学生・教員・地域団体の 3 者でチームを組んで、地域から提案があった地域課題の解決や地域活性化をめざす取り組みを、広島大学が支援するものです。

9 月に採択プロジェクトを決定し、10 月から来年 2 月までの期間で活動しています。

採択されたプロジェクトのキックオフイベントなど、10 月から 11 月にかけて開催するイベントや会合などの予定をご案内いたします。

ぜひ、取材いただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、活動状況の一部は、広島大学公式ウェブサイト→地域・社会連携のお知らせにも掲載してまいります。(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc>)

1. Sandankyo Nature Trail Project

(三段峡－太田川流域研究会×統合生命科学研究科 教授 中坪 孝之)

●第 1 回現地調査

日時：10 月 28 日 (月)

2. 中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を作ろう

(つくれば工房×統合生命科学研究科 准教授 彦坂 暁)

●キックオフイベント

日時：11 月 10 日 (日) 10:00～15:00

場所：志和堀地域センター、ほたる荘

概要：つくれば工房のメンバーと、教員・学生によるキックオフイベントを開催。

●ものづくりワークショップ@ほたる荘

日時：12 月 8 日 (日) 13:00～16:00

場所：ほたる荘

概要：一般の方を対象とした透明骨格標本作りワークショップ。

3. 久比(くび)地区の水利用等住環境に関するサステナビリティの確立のための広島大学の瀬戸内拠点造り

(一般社団法人まめな×総合科学研究科 教授 小野寺 真一)

●キックオフイベント

日時：10 月 26 日 (土)～27 日 (日)

場所：呉市豊町久比地区

概要：教員と学生による、呉市豊町大崎下島久比地区の現地調査。その後、まめなのメンバーとのワークショップを開催。

4. 楽しゅう 飲みん茶い

(まほろばくろたに×文学研究科 准教授 伊藤 奈保子)

- 三原だるま茶器開発会議 (第2回会合)

日時：10月22日(火) 10:00~12:00

場所：三原市地域ボランティアセンター打合せルーム

- 交流会

日時：10月27日(日) 13:00~16:30

場所：三原市大和町黒谷集会所(茶園)

概要：まほろばくろたにの会員、賛助会員と教員、学生の交流会。現地視察、プロジェクト説明などを行なう。

- 手もみ煎茶講習会

日時：11月24日(日) 10:00~15:30

場所：三原市大和町黒谷事務局長和氣宅

概要：まほろばくろたにの会員、賛助会員と教員、学生を対象とした、京田辺市から講師を招いて、手もみ煎茶講習会を開催。

5. レモンの島瀬戸田、地域と環境にやさしく共生する島づくり

(せとだレモン祭実行委員会×教育学研究科 准教授 富永 美穂子)

- 企画概要案に基づくフィールドワークの構想発表、意見交換

日時：10月23日(水) 12:50~16:05

場所：広島大学東広島キャンパス 教育学部 K215

概要：豊かな生活と地域の発展をめざして、レモンを活かす方法を考え、実践しよう！」をパフォーマンス課題に、人間生活(家庭科)教育概論受講者23名を5グループ(企画・提案・運営(1グループ)、まちの魅力発信(1グループ)、レモングッズ(3グループ))に分け、企画概要案に基づき、フィールドワーク案を発表する。発表案に対して、学生、地域、教員3者で意見交換を行う。

- 瀬戸田 フィールドワーク

日時：10月26日(土) 10:30~

概要：当日、フィールドワーク可能な学生たち(17名参加予定)が瀬戸田町を訪問し、フィールドワークを行う。

午前中、レモン祭実行委員会メンバーがリレー形式で瀬戸田町について紹介する。午後は学生が各グループでフィールドワークを行う。

- 企画案の発表、意見交換

日時：11月13日(水) 12:50~16:05

場所：広島大学東広島キャンパス 教育学部 K215

概要：フィールドワークを踏まえて、企画案を再検討し、再検討した企画案の発表を行う。その後、3者で意見交換を行う。

【お問い合わせ先】

各プロジェクトのお問い合わせ先

テーマ	
Sandankyo Nature Trail Project (安芸太田町)	特例認定 NPO 法人 三段峡-太田川流域研究会 TEL: 090-3421-3046
中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を作ろう (東広島市志和町志和堀)	広島大学統合生命科学研究科 准教授 彦坂 暁 TEL: 082-424-6567
久比地区の水利用等住環境に関するサステイナビリティの確立のための広島大学の瀬戸内拠点作り (呉市豊町～大崎下島久比地区)	一般社団法人まめな 三宅紘一郎 TEL: 080-3393-8899
学生ワークショップによる公共空間利活用の提案と実践 (呉市中通 2 丁目)	広島大学工学研究科 教授 田中貴宏 TEL: 082-424-7866
音戸の瀬戸周辺地域の散策マップ作成とマップを活用にした地域づくり提案 (呉市音戸町)	広島大学工学研究科 教授 田中貴宏 TEL: 082-424-7866
音戸ドリームアイランドカレッジフィールド (呉市音戸町)	広島大学総合科学研究科 講師 張慶在 TEL: 082-424-6385
楽しゅう 飲みん茶い (三原市大和町～黒谷地区)	まほろばくろたに 事務局長 和氣泰臣 TEL: 090-7508-7754
レモンの島瀬戸田、地域と環境にやさしく共生する島づくり (レモンのある暮らし -レモンを生活の中に豊かに生かす-) (尾道市瀬戸田町)	広島大学教育学研究科 准教授 冨永美穂子 TEL: 082-424-6860

地域の元気応援プロジェクト全般に関するお問い合わせ先

広島大学学術・社会連携室
学術・社会連携企画グループ 三戸
[TEL:082-424-5871](tel:082-424-5871)

令和元年 10 月 21 日

**「今後の大学教育を考えるー文理融合型教育への期待と課題ー」
(第 47 回研究員集会) を開催します**

広島大学高等教育研究開発センターでは、第 47 回研究員集会「今後の大学教育を考えるー文理融合型教育への期待と課題ー」を下記のとおり開催します。

是非取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

【日 時】

2019 年 11 月 26 日 (火) 12:50~17:10

【場 所】

広島大学学士会館 2 階 レセプションホール (東広島キャンパス)

【内 容】

12:50~13:00 開会挨拶 越智 光夫 (広島大学長)

13:00~13:10 センター紹介 小林 信一 (広島大学高等教育研究開発センター長)

〈セッション 1ー基調講演ー〉

13:20~14:00 基調講演 1 隠岐 さや香 (名古屋大学)

「文理融合の可能性：文系と理系はなぜ分かれたのか」

14:00~14:40 基調講演 2 山田 俊弘 (広島大学)

「文理を融合するすてきなレシピ」

〈セッション 2ー論点提起ー〉

14:50~15:10 論点提起 1 山田 礼子 (同志社大学/大学教育学会会長)

「文理融合の新しい STEM プログラムの動向：米国、シンガポール、日本の事例を中心に」

15:10~15:30 論点提起 2 岡本 正宏 (九州大学総長特別顧問/名誉教授)

「文理融合型学士課程教育の理念・実践・課題：九州大学共創学部を事例として」

15:30~15:50 論点提起 3 竹村 彰通 (滋賀大学データサイエンス学部長)

「文理融合型学士課程教育の理念・実践・課題：滋賀大学データサイエンス学部を事例として」

〈セッション 3ーパネルディスカッションー〉

16:00~17:10 パネルディスカッション

【お問い合わせ先】

高等教育研究開発センター事務局

TEL：082-424-6240、6244、3540